

平成 30 年 1 月 9 日
日本原子力発電(株)

東海第二発電所 工認ヒアリングスケジュール及び進め方について

1. 年間スケジュール

年間スケジュールは、本年 11 月認可期限を踏まえたキーデートに対し、工認の各項目全てのヒアリングが合理的に設定されていることの確認及び主な論点の整理を目的とする。ヒアリングの設定の考え方は以下のとおり。

- ・ 1 月～3 月 基本設計方針，主な論点に係るもの
- ・ 3 月～6 月 計算書（結果），コメント回答（順次実施）
- ・ 6 月～8 月 コメント回答（順次実施）

※主な論点（抜粋）

図書名		論 点	実施予定
機電	中央制御室の居住性に関する説明書	・BOPの気密性及びクリップ、スライド技術の要素技術を含めた全体の成立性	3月上旬
	原子炉格納施設的设计条件に関する説明書	・200℃，2Pdでの健全性の担保の考え方 ・MCCI/FCI対策の成立性 ・減圧沸騰による影響評価	2月上旬 (一部，4月)
外部事象	津波への配慮に関する説明書	・防潮堤ルート変更後の入力津波の設定 ・防潮堤止水機構の地震時の追従性に係る実証試験結果 ・放水路ゲートの閉止機構に係る設計	2月下旬
耐震	耐震設計の基本方針	・機器・配管系評価に用いる設計用床応答曲線の作成方針	2月下旬
	耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性についての計算書	・追加地質調査結果を踏まえた地盤の液状化強度特性の信頼性及び代表性について	2月下旬以降
強度	強度計算書作成の基本方針	・強度に関する適用規格の整理（JSMEに規定のない材料についての方針含む。） ・クラス2機器の規定を準用しない評価 ・SAクラス2機器に用いるクラス1機器の事故時の強度評価について	2月下旬

2. 詳細スケジュール

詳細スケジュールは、工認添付書類とそれに紐づく補足説明の一覧を縦軸に年間スケジュールに基づき至近 3 か月の日割り予定を整理することを目的とする。ヒアリング予定は、以下の条件を考慮して計画した。

- ・ 基本設計方針，主な論点に係るものを先行して予定
- ・ 耐震関係については、建物・構築物関係と機電関係を並行して実施
- ・ 耐震計算結果と強度計算結果は、同時期に実施

3. ヒアリングの進め方

- ・ 詳細スケジュールを基に、ヒアリングを調整（審査スケジュールに反映）
- ・ 原則、週 2 回（火、木）、プラント側（機電関係、外部事象、内部事象、放射線管理、炉心等）／耐震側（建物・構築物関係、機電関係）に分かれて実施
- ・ ヒアリング資料は、原則 3 営業日前提出

以上